○補助金及び交付金一覧

No.	名　　称	所管課	交付等の目的・内容（成果指標）	交付先名称	総事業費（円単位）	補助金額（円単位）	補助率	補助金の積算根拠	補助上限額	事業の効果検証	補助金の適合状況(担当課の評価)						
											補助額・率は適正である	団体運営費補助ではない	重複・類似の補助事業ではない	補助金としての支出が適切ではない	補助交付先の選定方法は適切である	補助交付先の財政状況を把握している	再補助は実施していない。
【１０款　教育費】																	
1	地域の特性を生かす教育推進事業交付金	学校教育課	教育を振興し、心豊かで潤いのある充実した生活の創造を図るため、小中学校が行うSDGsの取り組みにつながる地域の実態を生かした特色ある教育活動に要する経費を助成する。（SDGsの目標を毎年1項目取り組む）	各小中学校	950,000	950,000	10/10	交付金額は、予算の範囲内において町長が定める額。	麻生小・宮内小・砥部小200,000円 広田小100,000円 砥部中250,000円	全ての学校が補助金を活用し、地域の特色を生かした教育活動を実施した。本事業により、伝統や文化、歴史教育をはじめ、郷土愛や地域との異世代交流を深めることができ、心豊かで充実した、地域性を生かした独自の教育を行うことができている。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
2	中学生英語検定料助成金	学校教育課	公益財団法人日本英語検定協会が実施する、実用英語技能検定3級以上を受験する中学生の保護者に対して、受検料の一部を助成する。（生徒全員の受験（毎年20%増を目標）	砥部町に住民票を有する中学生の保護者	495,000	198,000	1/2 （上限2,000円）	補助金の額は、 2,000 円を限度とし、検定料の 2 分の 1 以内の額	2,000円	3級以上英検受験者99人 合格者55人 合格率56% 昨年度の英検受験者は93人で増加傾向にあり、英検受験機会の拡大に本事業が活かされている。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある
3	少年自然の家利用助成金（小学校）	学校教育課	小学校の集団宿泊体験活動に要する経費を助成する。交通費の1/2の額、施設利用料全額（麻生小80人、宮内小48人、砥部小45人、広田小９人）	麻生･宮内･砥部･広田小学校	1,897,478	764,825	40%	・一般児童　交通費1/2 ・要・準要保護児童　集団宿泊体験に要する経費で均一に負担する経費全額 ・特別支援教育就学奨励費対象児童　交通費3/4、施設利用料全額、それ以外の経費1/2	・一般児童　交通費1/2 ・要・準要保護児童　集団宿泊体験に要する経費で均一に負担する経費全額 ・特別支援教育就学奨励費対象児童　交通費3/4、施設利用料全額、それ以外の経費1/2	当該活動は、それぞれが自分の役割を担いながら他者との協働、自立心、チャレンジ精神など、社会生活で求められる能力を育む機会であり、家族への感謝や自然の怖さ・楽しさを体感できる活動である。 ５年生を対象に（広田小のみ５・６年生）全ての学校が実施しており、家庭の経済的な理由でこれらの機会が与えられないことのないよう補助を行い、令和７年度には全体の99%の児童が参加した。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
4	少年自然の家利用助成金（中学校）	学校教育課	中学校の集団宿泊体験活動に要する経費を助成する。交通費の1/2の額、施設利用料全額（砥部中160人）	砥部中学校	1,545,390	502,525	32%	・一般児童　交通費1/2 ・要・準要保護児童　集団宿泊体験に要する経費で均一に負担する経費全額 ・特別支援教育就学奨励費対象児童　交通費3/4、施設利用料全額、それ以外の経費1/2	・一般児童　交通費1/2 ・要・準要保護児童　集団宿泊体験に要する経費で均一に負担する経費全額 ・特別支援教育就学奨励費対象児童　交通費3/4、施設利用料全額、それ以外の経費1/2	当該活動は、それぞれが自分の役割を担いながら他者との協働、自立心、チャレンジ精神など、社会生活で求められる能力を育む機会であり、家族への感謝や自然の怖さ・楽しさを体感できる活動である。 １年生を対象に全ての学校が実施しており、家庭の経済的な理由でこれらの機会が与えられないことのないよう補助を行い、令和７年度には学年のうち98%の生徒が参加した。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
5	選手派遣費助成金（中学校）	学校教育課	中学校の各種大会参加に要する旅費及びその他町長が認める経費を助成する。（総体、新人戦、駅伝大会、吹奏楽コンクール等）	砥部中学校	3,083,442	3,083,442	100%	各種大会参加に要する旅費及びその他町長が認める経費の全額	各種大会参加に要する旅費及びその他町長が認める経費の全額	家庭の経済的な理由により各種大会へ不参加となった事例はなく、教育の振興、心豊かで潤いのある充実した生活の創造に繋がっている。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
6	社会教育関係団体育成補助金	社会教育課	町少年少女発明クラブ、ボーイスカウト砥部第1団の各活動に対しての育成補助金（各団体の活動経費に対する補助金のため、指標なし）	町少年少女発明クラブ、ボーイスカウト砥部第1団	発明クラブ 745,971 ボーイスカウト 1,296,658	250,000	1/2	補助対象事業のうち補助対象外経費を除く事業費の２分の１以内とし、予算で定める額を限度	250,000 （予算で定める額）	子どもたちに、物づくりを通して創造性を養ったり、自然体験活動を実施することにより、健全育成に繋がっている。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
7	伝統芸能保存伝承事業費補助金	社会教育課	伝統芸能の保存伝承活動を支援し、その育成を図る。 （令和７年度の伝統芸能保存団体数２団体を目標）	伝統芸能保存団体	80,000	40,000	1/2	伝統芸能の保存団体等の数	20,000 （１団体当り）	補助により保存団体等に必要な経費を賄い、活動継続及び人材育成をすることができている。	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している

○補助金及び交付金一覧

No.	名　　称	所管課	交付等の目的・内容（成果指標）	交付先名称	総事業費（円単位）	補助金額（円単位）	補助率	補助金の積算根拠	補助上限額	事業の効果検証	補助金の適合状況(担当課の評価)						
											補助額・率は適正である	団体運営費補助ではない	重複・類似の補助事業ではない	補助金としての支出が適切ではない	補助交付先の選定方法は適切である	補助交付先の財政状況を把握している	再補助は実施していない。
【１０款　教育費】																	
8	文化財保存顕彰事業費補助金	社会教育課	指定文化財の所有者、管理団体、保存団体が行う文化財保存顕彰事業に要する経費に対し補助することで文化財の保存・伝承・修理及び周知・活用を図る。（予算計上せず申請があった場合のみ支払われる補助金のため指標なし）	指定文化財所有者、管理団体、保存団体	80,000	79,750	1/2	補助対象経費に以下の割合を乗じて得た額の合計額 ・500万円以下の額2分の1 ・500万円を超え1,000万円以下の額5分の1 ・1,000万円を超え2,000万円以下の額10分の1 ・2,000万円を超える額15分の1	補助対象経費に以下の割合を乗じて得た額の合計額 ・500万円以下2分の1 ・500万円を超え1,000万円以下5分の1 ・1,000万円を超え2,000万円以下10分の1 ・2,000万円を超える額15分の1	補助により所有者等が文化財を管理・保護するための費用を賄い、文化財の保存伝承を行うことができている。	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している
9	砥部町人権教育協議会交付金	社会教育課	基本的人権を尊重する立場から、人権教育の正しいあり方を研究協議し、その推進を図る団体（協議会活動経費に対する補助金であるため指標なし）	町人権教育協議会	1,131,749	1,131,749	10/10	各種研修会等への参加要請人数・参加実績	一般会計予算で定めた額	人権教育に関する資料の配付や研修会等への参加を通して、町民や教職員等の人権意識の向上を図り、指導力を養うことができている。	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
10	県人権対策協議会砥部支部交付金	社会教育課	今も社会に存在する部落問題をはじめ、あらゆる人権問題を解決して民主社会の実現を図り、権利と自由を確保することを目的とする団体（協議会活動経費に対する補助金であるため指標なし）	県人権対策協議会砥部支部	793,780	793,780	10/10	各種研修会等への参加要請人数・参加実績	一般会計予算で定めた額	研修会等への参加を通して、人権課題に関する理解を深めたり、相談体制の充実を図ったりすることができている。	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
11	県企業連合会砥部支部交付金	社会教育課	人権対策の一環として関係者が連携し、人権問題に関する認識を深めて生活の向上を図るとともに、企業の発展を期する団体（連合会活動経費に対する補助金であるため指標なし）	県企業連合会砥部支部	402,368	402,368	10/10	各種研修会等への参加要請人数・参加実績	一般会計予算で定めた額	研修会等への参加を通して、人権課題に関する理解を深めることができている。	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
12	スポーツ少年団等育成補助金	社会教育課	少年を対象としたスポーツ活動を計画的に実施するスポーツクラブを育成し、少年スポーツの活性化を目的とする。（令和7年度の町内少年スポーツクラブ数15団体を目標）	スポーツ少年団	750,000	700,000	1/2	砥部町スポーツ少年団に登録している団体数	50,000（１団体当り）	補助によりスポーツ少年団に必要な経費を賄い、団体の活動継続及び少年スポーツ活動の普及ができている。	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
13	スポーツ少年団陶街道ゆとり公園武道場利用補助金	社会教育課	陶街道ゆとり公園武道場を利用する町内のスポーツ少年団に対して、利用料の補助を行う。（令和7年度の町内少年スポーツクラブ数17団体内武道場使用団体４団体を目標）	スポーツ少年団	548,000	479,500	10/10	砥部町スポーツ少年団に登録しており、陶街道ゆとり公園武道場を利用している団体数・活動予定回数	548,000（予算で定める額）	補助によりスポーツ少年団の活動場所の確保を行い、団体の活動継続及び少年スポーツ活動の普及ができている。	A 適合している	C 不適合であるが、合理的理由がある	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している
14	スポーツ少年団指導者育成補助金	社会教育課	スポーツ少年団登録の要件となっている指導者の資格取得について、その費用の一部を補助する。（令和7年度の町内少年スポーツクラブ数15団体を目標）	スポーツ少年団	100,000	17,600	1/3	スタートコーチ養成講習会資格取得経費及び指導者資格移行手数料の３分の１以内の額	100,000（予算で定める額）	スポーツ少年団に携わる指導者のうち４名が資格取得をした。	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している	A 適合している